

# からてどうけんしょう こども空手道憲章

こうえきざいだんほうじんぜんにほんからてどうれんめい  
公益財団法人全日本空手道連盟

## だいいちじょう もくてき 第一条 (目的)

からてどう ひび しんしん れんま つう きょうじん  
空手道は、日々の心身の練磨を通じて強靱なからだを鍛え、人格を磨き、心身ともに立派  
な青少年を育成することを目的としています。

## だいにじょう こころがま 第二条 (心構え)

からてどう しゅぎょう からてどう せいしん ただ りかい れいせつ せいぎかん どうとくしん こつき ゆうき  
空手道の修行をする人は、空手道の精神を正しく理解し、礼節、正義感、道徳心、克己、勇気  
の五つの資質を身につけ、向上させるよう努力しなければなりません。

## だいさんじょう けいこ 第三条 (稽古)

けいこ せんせい おし れいぎ まも きほん たいせつ わざ しんぎたい  
稽古をするときは、先生の教えや礼儀を守り、基本を大切にして、技だけではなく心技体  
の向上を目指して修練に励みます。

## だいよんじょう きょうぎ 第四条 (競技)

きょうぎ えんぶ れんま しんぎたい せい か だ  
競技や演武では、ふだん練磨した心技体の成果を出しきってがんばります。  
くみて かた きょうぎ か ま けっか しんぱん しじ まも  
組手(形) 競技では勝ち負けや結果だけにこだわらず、審判の指示やルールをよく守り、  
つね せつど しんけん たいど きょうぎ  
常に節度ある真剣な態度で競技します。

## だいごじょう けいこば 第五条 (稽古場)

けいこば どうじょう たいいくかんだ わざ みが こころ からだ ぼしょ わす れいぎ  
稽古場(道場、体育館等)は、技を磨き、心と体をきたえる場所であることを忘れず、礼儀  
きほう まも きりつ たも せいしゆく せいけつ あんぜん いじ こころ  
作法を守り、規律を保つとともに、静粛・清潔・安全が維持できるよう心がけます。

## だいろくじょう なかま 第六条 (仲間)

けいこば なかま たいせつ たが きょうりよく はげ きび けいこ た たの  
稽古場の仲間を大切にして、お互いに協力し、励ましあいながら厳しい稽古に耐え、楽しく  
しゅぎょう おお なかま けいこば じこせきになん せいしん み  
修行し、さらに多くの仲間をつくります。稽古場では自己責任やフェアプレーの精神を身に  
つけ、自分本位にならず、仲間に対する思いやり、優しさ、感謝する心を養い、ともに成長  
することが大切です。